

【第12号】
平成26年 8月26日

福島県相双建設事務所 復旧復興だより



(この便りは、相双建設事務所と富岡土木事務所が取り組む復旧・復興事業の進捗状況などをお伝えするものです。)

◆双葉町内で災害査定を実施しました。

相双建設事務所及び富岡土木事務所では、現在、震災で被災した道路、河川、海岸等の復旧工事を管内全域で鋭意進め、現場の復旧・復興を着実に前進させております。

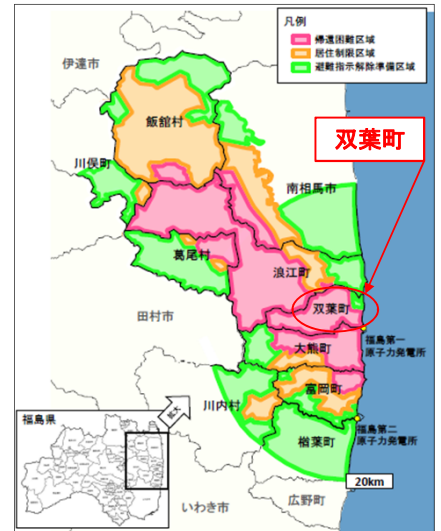
震災直後からこれまで、新地町から広野町にかけて原発事故による放射性物質の影響が小さい所から順次、現地調査や測量設計などを行い、昨年度までに、双葉町以外の市町村で災害査定を実施することができました。

「災害査定」とは、災害の早期復旧を目的に国の査定官等が被害状況を現場で審査し、復旧工法と概算の工事費用を決定するものであり、その後、復旧工事を発注、施工し、完成させる流れでそれぞれの工事を進めております。

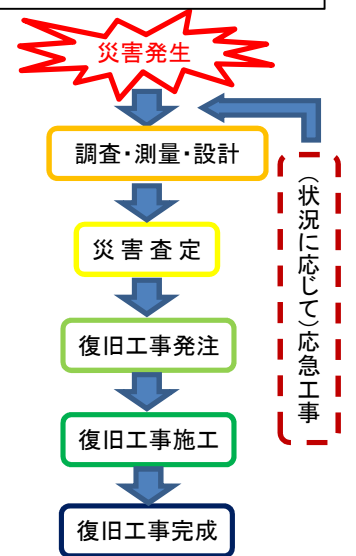
双葉町内についても、被災した海岸堤防などの調査・設計を進め、震災後初めて8月4日から8月8日にかけて災害査定を実施しました。

今回の災害査定では、双葉中浜海岸、長塚請戸浪江線、前田川など合わせて11箇所、約96億円が採択されたものであり、今後、速やかに復旧工事を発注し、一日も早い工事完成を図ってまいります。

(※上記11箇所には、一部、浪江町内や飯館村内の被害箇所を含みます。)



災害復旧工事の概ねの流れ



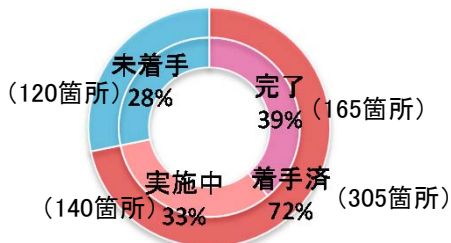
河川の被害状況について図面などを用いて説明



県道の被害状況を指差し説明

◆その他の情報

◇震災等の災害復旧工事の進捗 (H26.8月)



◇県道原町川俣線 八木沢トンネルの掘削状況

H26.8.26現在、全長2,345mのうち
南相馬市側から201m地点を掘削中。

※対象は相双建設、富岡土木が管理する道路、河川、海岸等であり、放射線量が高く査定が未実施の避難指示区域の一部は含まず。率は事業箇所数で算出した割合。

○次回は、「海岸堤防に接続する河川堤防の嵩上げ」事業をお伝えする予定です。
(事業の進捗状況等により変更する場合があります)